結の故郷 越前おおの　　報道資料

【発信日】令和３年４月２７日
【問合わせ先】
大野市役所（２階　２２番窓口）
行政経営部政策推進課　山崎、松本
電話　0779-66-1111 内線 2513

「大野市高速交通アクションプログラム」の改訂について

～高速交通網整備の見通しや市の取り組みを更新～

平成３１年３月に策定した「大野市高速交通アクションプログラム」を改訂しました。

記

１ 名　　称　　大野市高速交通アクションプログラム～未来へつなぐまちづくり～

２ 内　　容

中部縦貫自動車道大野油坂道路と北陸新幹線の開通・開業見通しや、市が取り組むべき事柄を、市民の皆様と情報共有するために取りまとめたもの。

３ 配 布 先　　大野市ホームページにて公開

４ 主な改訂内容

（１）中部縦貫自動車道大野油坂道路の開通見通し情報を更新

・令和４年度に大野 IC～和泉 IC（仮称）間の開通が予定されていること。
・和泉・油坂区間の早期開通について引き続き要望していること。

（２）北陸新幹線金沢ー福井ー敦賀間の開業見通し情報の更新

・令和５年度末の開業を目指して工事が進められていること。
・敦賀・大阪間で環境アセスメントが行われていること。

（３）令和５年度末までの大野市の取組内容の追記

・北陸新幹線福井・敦賀開業が予定されている令和５年度末までの取組内容のうち、市民の皆様と特に情報共有したいものについて詳細な情報を新たに記載。

５ そ の 他　　アクションプログラムは別添のとおりです。

大 野 市 高 速 交 通
アクションプログラム

～未来へつなぐまちづくり～

中部縦貫自動車道　大野東 IC（仮称）附近の工事状況
（国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所　提供）

平成３１年３月策定
令和３年３月改訂

はじめに

現在、中部縦貫自動車道大野油坂道路については、令和４年度（２０２２年度）の大野IC～和泉IC（仮称）間の開通に向けて、また、和泉・油坂区間についても早期の開通に向けて整備が進められています。

北陸新幹線については、令和５年度末（２０２３年度末）の金沢―敦賀間の開業を目指し、整備が進められています。

中部縦貫自動車道と北陸新幹線の二つが整備されれば、大きな高速交通ネットワークが形成されることになり、人の交流や物流の拡大が見込まれます。

特に、中部縦貫自動車道は、今後発生が危惧されている南海トラフ地震など太平洋側で大規模災害が発生した際に、代替機能を発揮する国土強靭化に必要不可欠な道路であると同時に、中京圏との結び付きがこれまで以上に強まります。

また、北陸新幹線の延伸は日本海国土軸を確固たるものにすると同時に、東京のみならず北関東方面との産業や観光、文化交流の促進、さらには敦賀・大阪間の早期開業による経済効果が期待されています。

さらに、令和９年（２０２７年）開業を目指して、国土交通大臣から工事実施計画の認可を受けている品川・名古屋間のリニア中央新幹線の工事が進められています。

大野市では、人の交流や物流の拡大が見込まれるこの機会を逃すことなく、市民の皆様とともに様々な取り組みを行うことで、人口減少が進む中にあっても持続可能な地域づくりを進めていく必要があります。

中部縦貫自動車道大野東IC（仮称）周辺では、令和３年（２０２１年）４月２２日に、地域外から大野市内へ人を呼び込む道の駅「越前おおの 荒島の郷（さと）」が開駅します。この道の駅「越前おおの 荒島の郷（さと）」は、令和３年早期に大規模災害時に広域的な復旧や復興の活動拠点となる「防災道の駅」としての認定が予定されています。

また、雇用の場を創出するための大野市富田産業団地の整備が完了し、企業誘致を進めています。

本プログラムは、中部縦貫自動車道の県内全線開通と北陸新幹線の福井・敦賀開業の前後までに、大野市が取り組むべき事柄について、市民の皆様と情報共有をするため作成したものです。

本プログラムを御覧になられた方々の、それぞれのお立場における取り組みが活性化されれば幸いです。

なお、本プログラムは、事業の進ちょくや新たな施策など変更が生じた場合には、その都度更新していきます。

目　　次

１　中部縦貫自動車道
（１）中部縦貫自動車道とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
（２）中部縦貫自動車道の整備効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
①北陸圏・中京圏・関西圏・関東圏を結ぶ広域ネットワークが構築されます。
②広域的な迂回ルートと冬期間の安定した交通の確保が図られます。
③観光客の増加や市場の拡大、企業誘致、雇用の確保に効果があります。
④救急搬送の時間短縮により、大きな安心が得られます。
⑤交流拡大と災害時の相互応援の強化につながります。

２　北陸新幹線
（１）北陸新幹線とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
（２）北陸新幹線の整備効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
①日本海側の国土軸が強化され、安全な国土づくりに寄与します。
②生活範囲が変わり、ビジネスの可能性も広がります。
③移住や二地域居住の増加が期待できます。

３　大野市の取り組み
（１）中部縦貫自動車道大野 IC～和泉 IC（仮称）間の開通及び北陸新幹線福井・敦賀
開業前後の主な出来事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
（２）令和５年度までに取り組む事柄・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
①中部縦貫自動車道・幹線道路網の整備
②道の駅「越前おおの 荒島の郷(さと)」に関連した取り組み
③公共交通手段の確保
④戦略的な観光の推進
⑤雇用の確保と働く場の整備
⑥情報発信と定住サポート

１　中部縦貫自動車道

（１）中部縦貫自動車道とは

中部縦貫自動車道は、長野県松本市と福井市を結ぶ一般国道１５８号の自動車専用道路として、長野県松本市を起点に飛騨地方、美濃地方の険しい山岳地帯を通り、福井市に至る延長約１６０km（東海北陸自動車道との重複区間約４０km を除く）の高規格幹線道路です。

高規格幹線道路とは、自動車の高速交通の確保を図るために真に必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路のことです。

中部縦貫自動車道は、この高規格幹線道路網の一翼を担っており、現在、国土交通省によって整備が進められていますが、整備後も県内区間は全線無料で通行できることが決まっています。

大野油坂道路については、令和４年度（２０２２年度）に大野 IC～和泉 IC（仮称）間（１９.5km）の開通が予定され、残りの和泉・油坂区間（１５.5km）の早期開通についても引き続き要望しています。

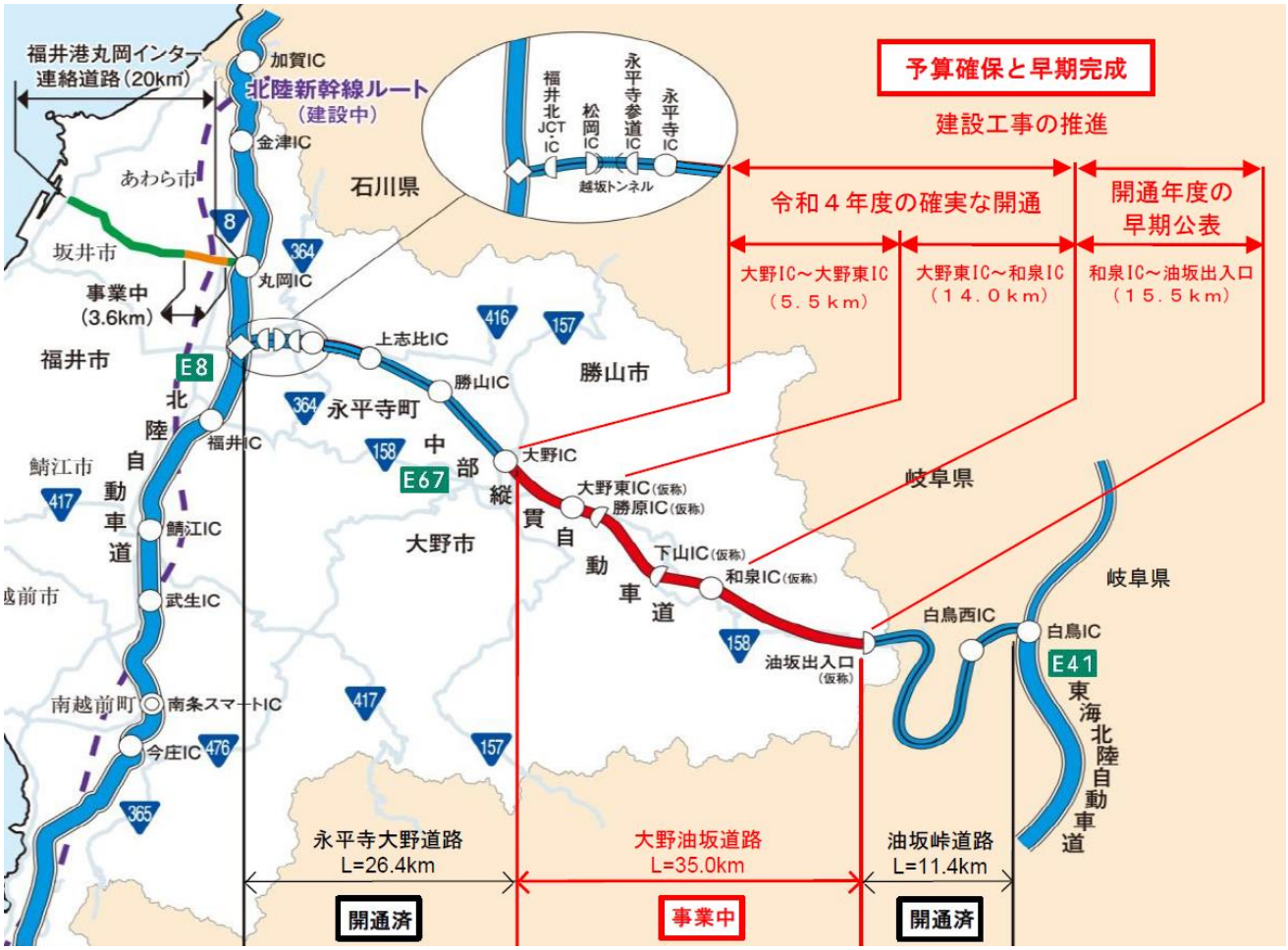
岐阜県高山市から長野県松本市までの区間については、安房峠道路のみ供用開始されており、早期全線開通がなされるよう協力して取り組んでいます。

◆中部縦貫自動車道の整備状況

道路名	①永平寺大野道路	②大野油坂道路	③油坂峠道路	東海北陸自動車道	④高山清見道路	⑤	⑥安房峠道路	⑦	⑧松本波田道路
区間名	福井北JCT・IC～大野IC	大野IC～油坂出入口	油坂出入口～白鳥IC	白鳥IC～飛騨清見IC	飛騨清見IC～丹生川IC	丹生川IC～平湯	平湯～中ノ湯	中ノ湯～波田IC	波田IC～松本JCT
距離（km）	26.4	35.0	11.4	41.4	24.7	21.0	5.6	27.0	5.3
供用開始	H29.7.8	大野IC～和泉IC(仮称) 令和４年度供用予定	H11.11.1	H12.10.7	飛騨清見IC～高山IC H19.9.29 供用開始		H9.12.6		

（福井県作成 中部縦貫自動車道パンフレット引用※一部加筆修正）

大野油坂道路の早期整備



（中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会
福井県議会高規格道路建設促進議員連盟 要望資料引用）

（２）中部縦貫自動車道の整備効果

①北陸圏・中京圏・関西圏・関東圏を結ぶ広域ネットワークが構築されます。

大野市と関東圏を最短距離で結び、北陸圏・中京圏・関西圏・関東圏を結ぶ広域ネットワークが構築されます。

特に、中京圏へのアクセスが格段に向上し、交流人口の増加や物流の拡大が期待され、これまで以上に結び付きが強まります。

（中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会
福井県議会高規格道路建設促進議員連盟　要望資料引用）

②広域的な迂回ルートと冬期間の安定した交通の確保が図られます。

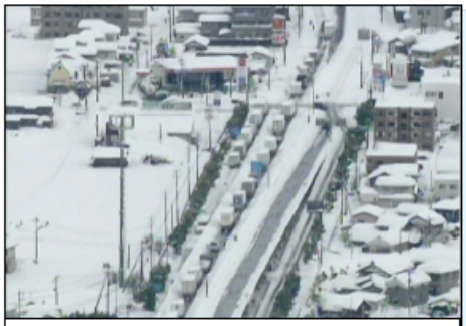
北陸自動車道、東海北陸自動車道、長野自動車道をつなぐことにより、広域的な迂回ルートが形成されます。
トンネル区間が多いため雪の影響を受けにくく、道路の形状も良いことから、冬期間の安定した交通の確保が図られます。

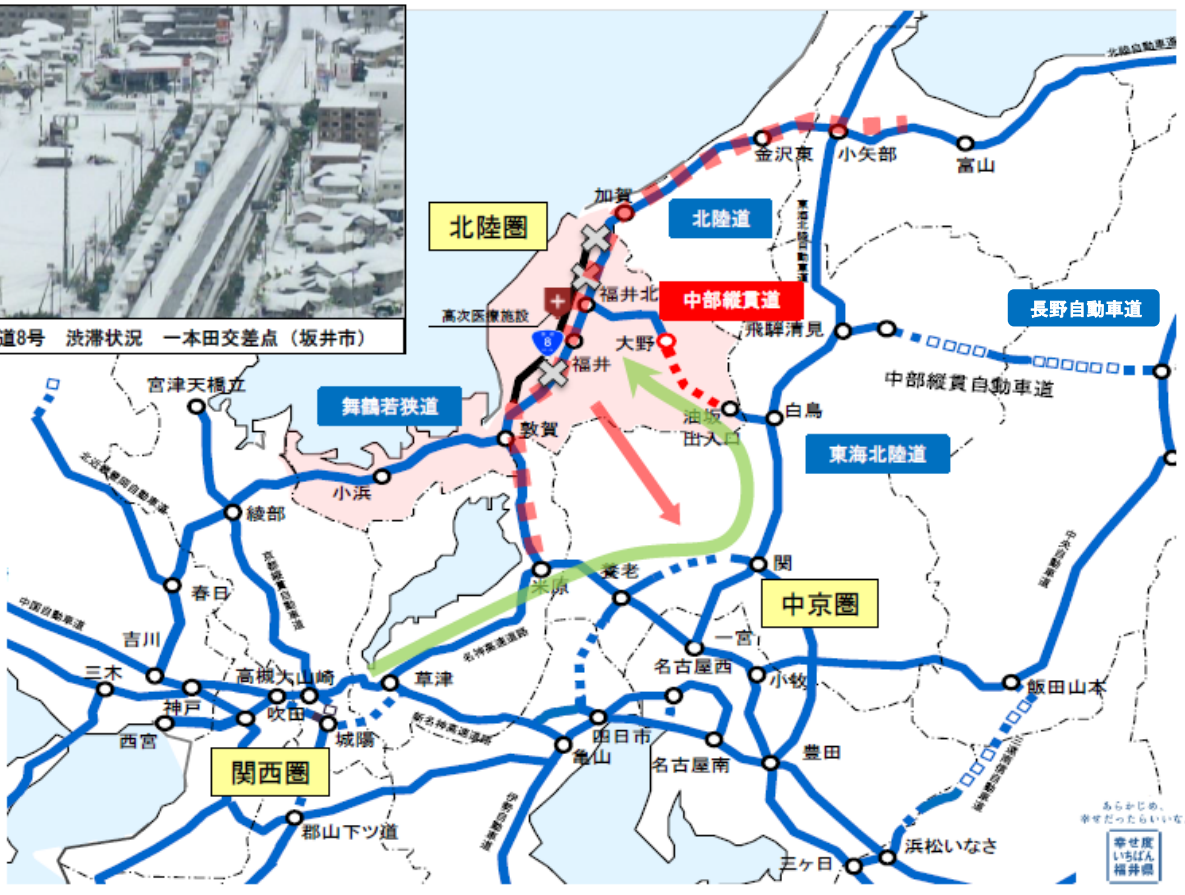
令和３年１月大雪の状況

◆東日本と西日本をつなぐ中部圏の大動脈である
北陸自動車道、国道８号等が長時間通行止め

（※通行止め時間（最大）　①北陸道 約６６時間　②国道８号 約２５時間　（同時 約２５時間）
参考）H30.2大雪　①北陸道 約３１時間　②国道８号 約６６時間（同時 約２０時間））

◆これにより、北陸と中京、関西間の人の往来や物流が停滞
◆生活物資の不足などが相次ぎ、経済活動全般に大きな影響


国道8号　渋滞状況　一本田交差点（坂井市）



（中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会資料引用）

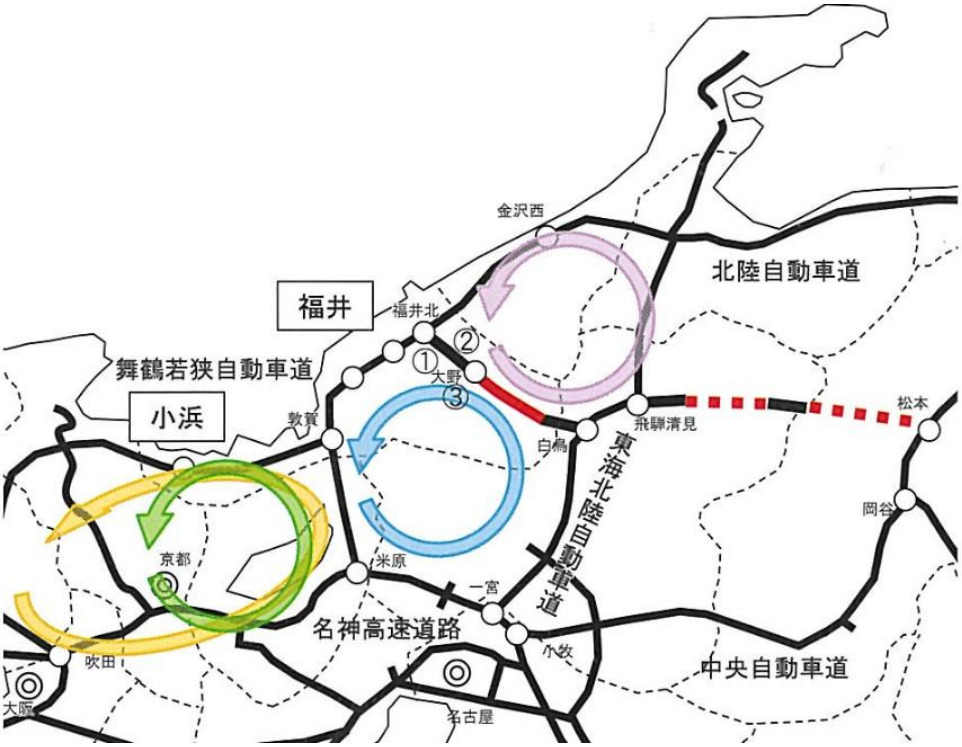
③観光客の増加や市場の拡大、企業誘致、雇用の確保に効果があります。

大野市周辺を訪れる県外からの観光客で最も多いのは、中京圏からの観光客です。今後、中部縦貫自動車道が県内全線開通すると、大野市は福井県の東の「玄関口」として、岐阜県などとの観光連携により、交流人口の増加が見込まれます。

また、隣県や大都市へのアクセスが向上することにより、安定した物流ルートが確保され、農産物などの出荷量の増加、企業立地の促進や市場の拡大、働く場の確保が図られます。

（中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会資料引用）

◆隣県・大都市へのアクセス向上により、安定した物流ルートや
新たな周遊観光ルートの構築が図れます。



（福井県作成　中部縦貫自動車道パンフレット引用）

◆中部縦貫自動車道の整備を見越して企業が進出

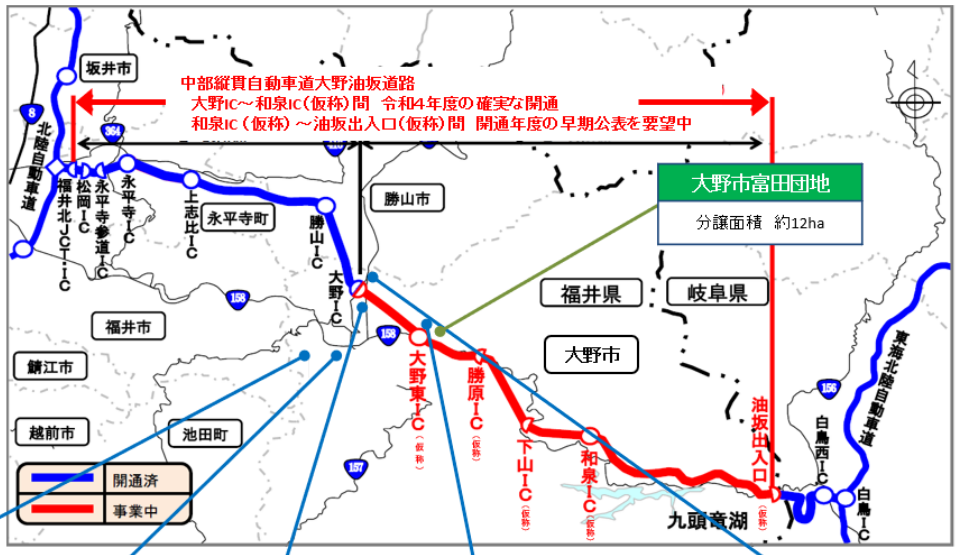
未事業化時
企業誘致が難航

▼

大野油坂道路
事業化
H21.3 大野東IC～和泉IC間
H24.4 和泉IC～油坂出入口間
H27.4 大野IC～大野東IC間

▼

事業化後の
進出・増築企業：6社
雇用人数：262人



小山工業団地	中据工業団地	大野市堂本	大野市七板		青島工業団地
タニコー(株) 大野工場	(株)エツミ光学 大野工場	貴実精工(株) 福井大野工場	ファーストウッド(株) 大野工場	(株)福井グリーンパワー	ニチコン製箔(株) 富田工場
敷地面積　約10ha 雇用人数　13人	敷地面積　約2ha 雇用人数　25人 ※増築により増加予定	敷地面積　約0.6ha 雇用人数　21人	敷地面積　約15ha 雇用人数　約150人	敷地面積　約3ha 雇用人数　24人	敷地面積　約4ha 雇用人数　29人
平成29年5月 （流通センター開設） 令和2年5月 （FMSセンター開設）	平成24年9月（増築） 平成30年4月（クリーンルーム） 令和3年3月操業開始予定（増築）	平成30年3月	平成23年4月	平成28年4月	平成20年6月（増築） 平成24年4月（再増築）

④救急搬送の時間短縮により、大きな安心が得られます。

現在、和泉地区から嶺北地方で唯一の第三次救急医療施設（福井県立病院）に向かう場合、搬送時間は１時間以上を要しています。中部縦貫自動車道の県内全線開通により、搬送時間が２７分短縮されると同時に、道路線形が改善され走行性が向上することで、搬送患者の負担が大きく軽減します。

（福井県作成 中部縦貫自動車道パンフレット引用※一部加筆修正）

⑤交流拡大と災害時の相互応援の強化につながります。

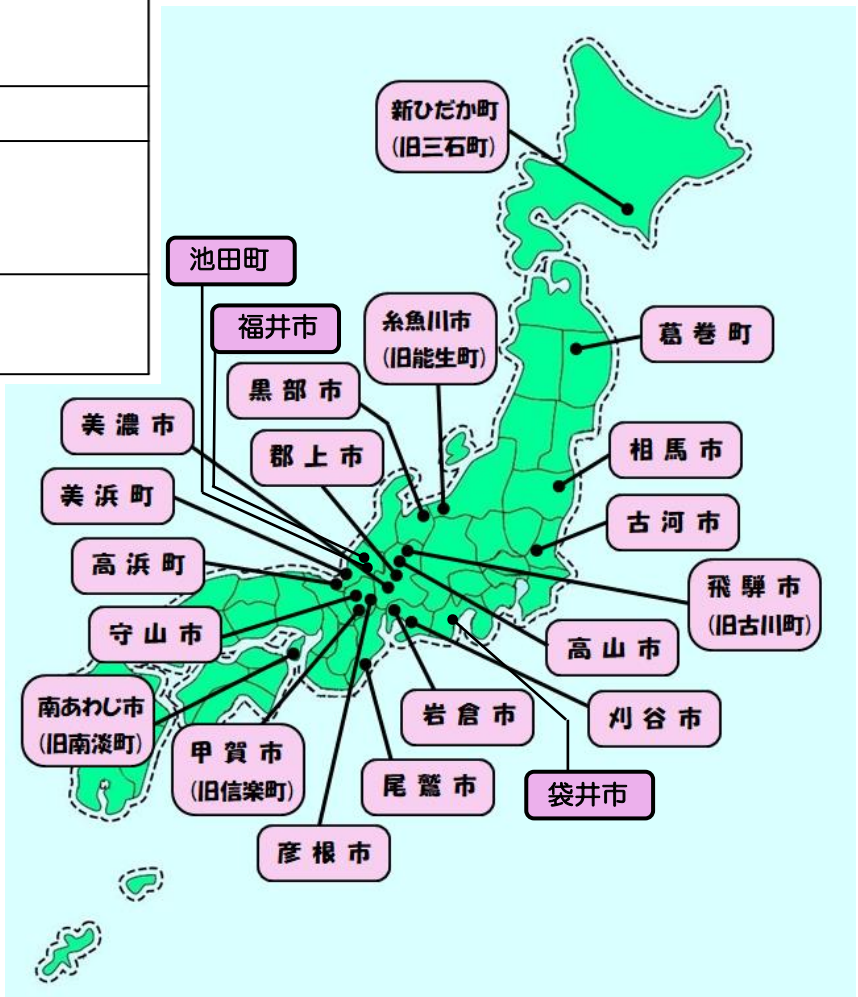
大野市では、姉妹都市である茨城県古河市や友好交流市である愛知県岩倉市をはじめ９市町と積極的に交流を図っています。

中部縦貫自動車道の県内全線開通で、より多方面の市町との交流につながり、経済交流への発展が期待されます。

また、大規模災害時における相互応援協定を県内外合わせて１０市町と締結しています。中部縦貫自動車道の県内全線開通により、迅速かつ円滑な応援・受援対応が可能となり、被災地住民の安全・安心の確保につながります。

◆大野市と交流を行っている市町
◆災害時相互応援協定の締結などをしている市町

茨城県古河市	姉妹都市 姉妹都市の災害時における相互応援協定都市
愛知県岩倉市	友好交流都市 災害時における相互応援協定締結都市
北海道新ひだか町	友好市町
岩手県葛巻町	
新潟県糸魚川市	
兵庫県南あわじ市	
福井県福井市	越前美濃街道広域観光交流都市
岐阜県郡上市	越前美濃街道広域観光交流都市 災害時相互応援協定締結市町
岐阜県美濃市	
富山県黒部市	災害時相互応援協定締結市町
三重県尾鷲市	
福井県高浜町	
福島県相馬市	
滋賀県守山市	
岐阜県高山市	災害時相互応援協定締結市町 ゆかりのあるまち
愛知県刈谷市	ゆかりのあるまち
滋賀県甲賀市	
滋賀県彦根市	
岐阜県飛騨市	
福井県美浜町	原子力災害時広域避難元
福井県池田町	
静岡県袋井市	



２　北陸新幹線

（１）北陸新幹線とは

北陸新幹線は、上信越・北陸地方を経由して東京と大阪を結ぶ延長約７００km の新幹線鉄道で、我が国の大動脈として地域の発展に大きく寄与する重要な路線です。

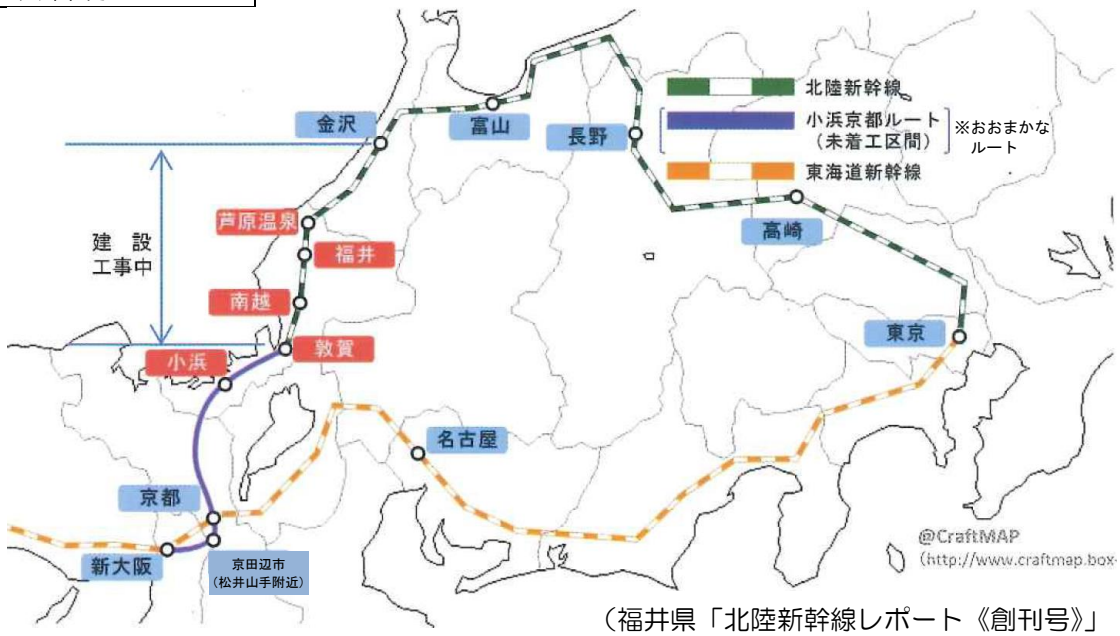
東京駅から長野駅までは、長野オリンピックに合わせて平成９年１０月に開業しており、平成１７年４月には福井駅部が認可され、平成２１年２月に完成しました。

平成２４年６月には金沢駅と敦賀駅間がフル規格で認可され、平成２７年３月には長野駅から金沢駅までが開業しています。

平成２９年３月には、北陸新幹線の敦賀・大阪間を小浜京都ルート【敦賀駅～小浜市（東小浜）附近～京都駅～京田辺市（松井山手）附近～新大阪駅】により整備されることが決定しました。

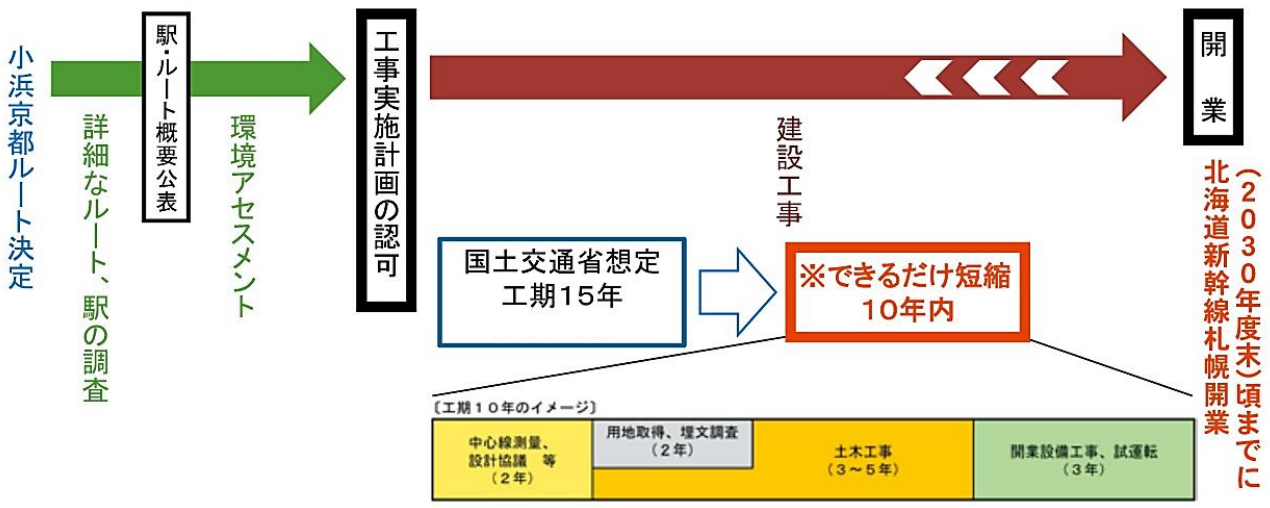
現在、令和５年度末（２０２３年度末）の開業を目指して、金沢駅と敦賀駅間の整備工事が進められており、敦賀・大阪間では環境アセスメントが行われています。

北陸新幹線のルート



（福井県「北陸新幹線レポート《創刊号》」 引用）

◆ 全線開業までのスケジュール



（福井県 「みんなの力で早期開業 北陸新幹線」 引用）

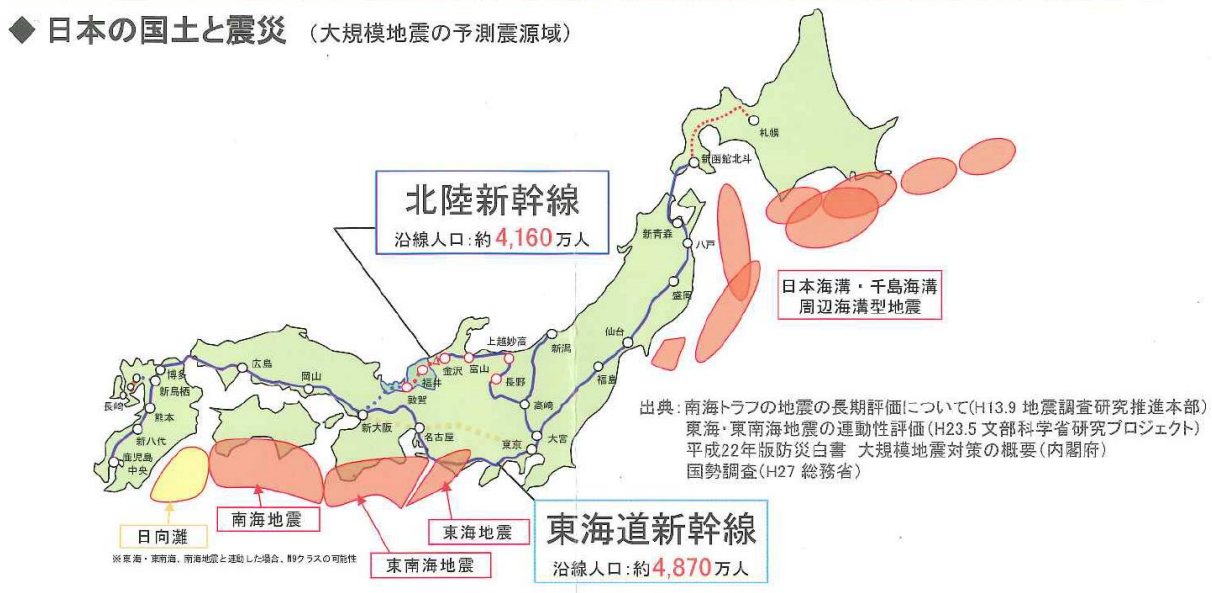
（２）北陸新幹線の整備効果

①日本海側の国土軸が強化され、安全な国土づくりに寄与します。

阪神淡路大震災や東日本大震災などを経験し、近い将来、南海・東南海・東海地震の発生が危惧されている中、災害に強い国土構造が求められています。

北陸新幹線は、日本海側の国土軸の強化と国土強靭化を実現し、災害時においては、東海道新幹線と相互に支え合う機能を発揮します。

また、平成３０年２月の大雪の際にも北陸新幹線は運転を続けました。



（福井県 「みんなの力で早期開業 北陸新幹線」 引用）

②生活範囲が変わり、ビジネスの可能性も広がります。

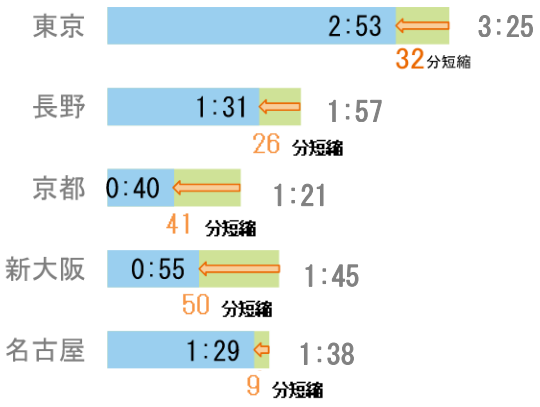
北陸新幹線開業により、東京や大阪をはじめ沿線地域との移動時間が短縮し、利便性が向上します。

新しい旅行先が選択でき、大野市を旅行先に選んでもらえるなど、観光やビジネス拡大の可能性が広がります。

また、離れて暮らす家族や友人との往来や、帰省時に便利になります。

福井駅から各都市間への所要時間（全線開業後）

福井駅



【現行】金沢経由、北陸新幹線利用
- 福井⇔東京、長野
- 福井⇔京都、新大阪は特急サンダーバード利用
- 福井⇔名古屋は米原経由、東海道新幹線利用

【全線開業後】すべて北陸新幹線利用

※現行の所要時間は、R3. 3. 13 改正ダイヤの最速値を使用
※全線開通後の所要時間は、国土交通省調査（H29. 3）に基づく最速値及び県試算値（乗換え時間 10 分）
※所要時間は想定値であり、開業後の運行ダイヤはＪＲが決定する。

（福井県 「みんなの力で早期開業 北陸新幹線」 引用）

Q.　北陸本線がＪＲから経営分離されると越美北線はどうなるの？

Ａ．越美北線など北陸本線の支線については、「新幹線整備に係る並行在来線として取り扱わないこと」を平成１２年に北陸４県とＪＲ西日本との間で合意しており、経営分離の対象外とすることを確認しています。
（福井県公式ＨＰから）
http://info.pref.fukui.jp/sokou/s-hinkansen/qa/q09.html

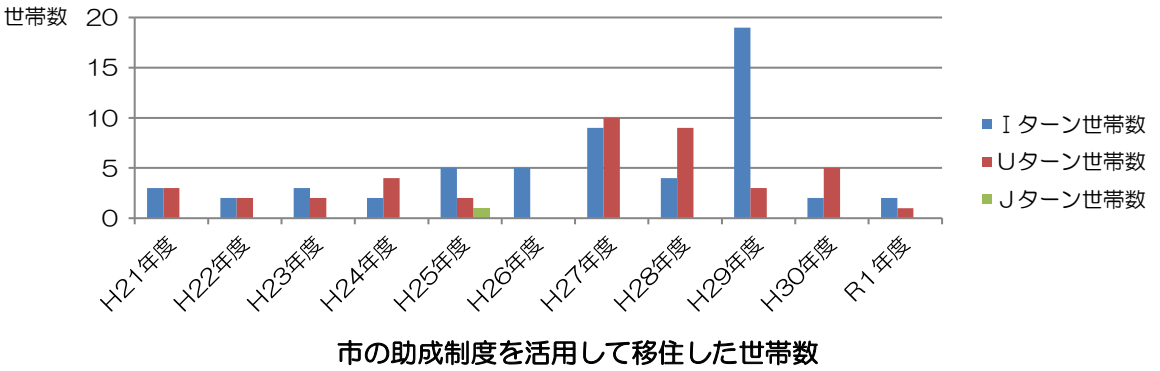
③移住や二地域居住の増加が期待できます。

大都市圏に暮らす人たちの間では、自然の中でゆっくりと思い思いの生活の仕方で暮らすスローライフや、健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイル、LOHAS（ロハス）などへの関心が高まりを見せています。

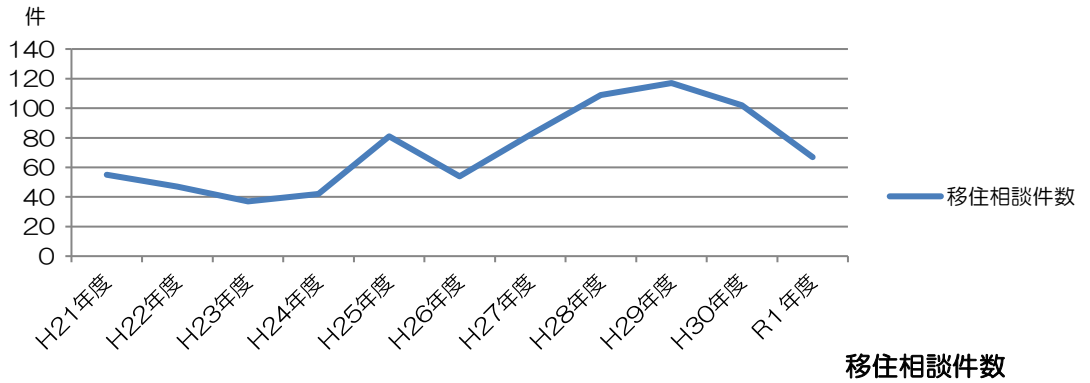
また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大都市圏への人口集中の脆弱性が改めて顕在化し、地方回帰の関心が高まるとともに、新型コロナウイルスとの共存を余儀なくされる「with コロナ」の時代の中で、オンラインやリモートなどの活用が拡大し、働き方が変化しています。

大野市でも、豊かな自然や清らかな水、ゆったりとした田舎暮らしを求める移住者の増加が期待されるとともに、中部縦貫自動車道の県内全線開通や北陸新幹線の延伸により利便性が向上することで、これまで以上にＩターンやUターンの増加が見込まれます。

さらには、平日は都市圏で仕事をし、週末には田舎暮らしをする「二地域居住」についても、増加が期待されます。



市の助成制度を活用して移住した世帯数



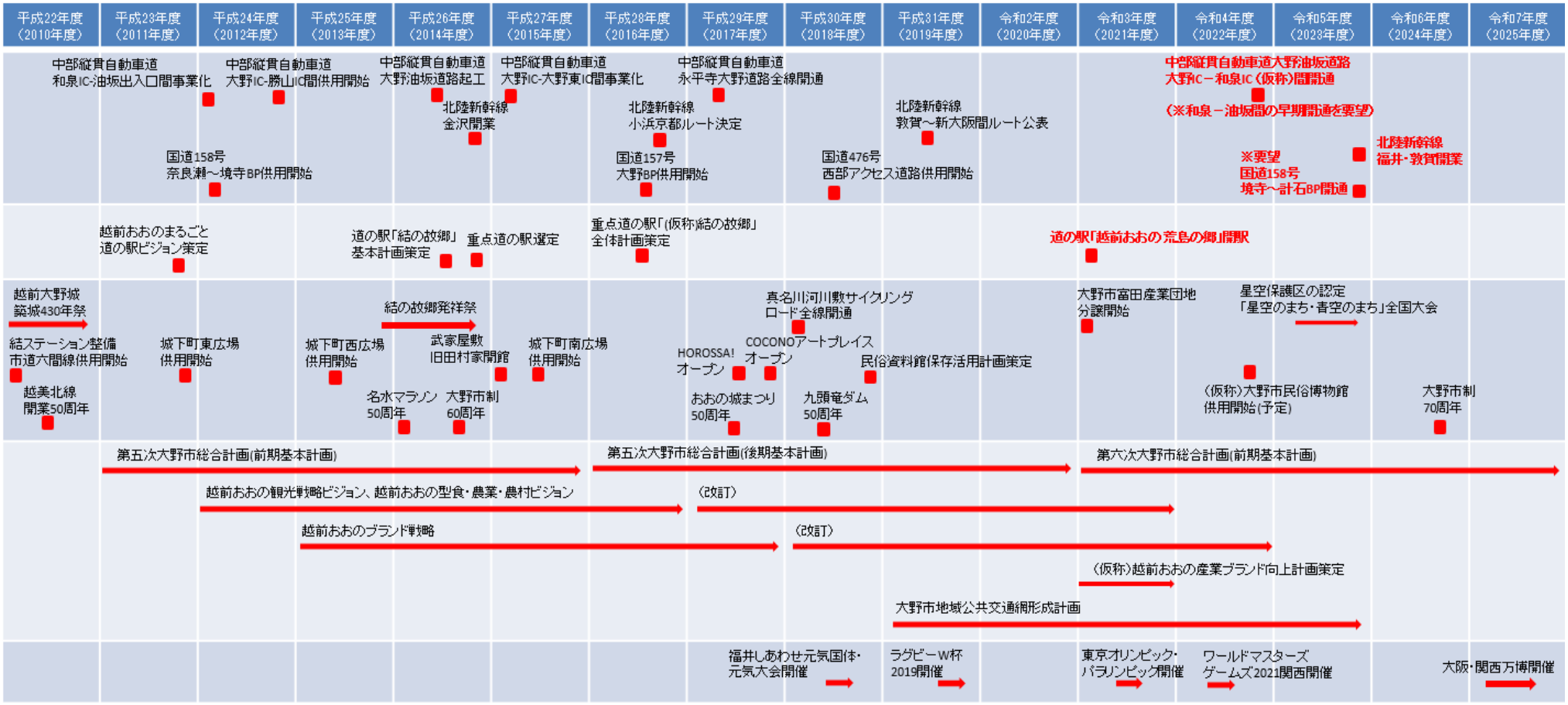
移住相談件数

３　大野市の取り組み

中部縦貫自動車道の令和４年度（２０２２年度）の大野ＩＣ～和泉ＩＣ（仮称）間の開通と北陸新幹線の令和５年度末（２０２３年度末）の金沢―敦賀間開業により福井県全体の高速交通ネットワークの形成が予定されています。大野市ではこの機会を逃すことなく、様々な取り組みを進めています。

（１）中部縦貫自動車道大野ＩＣ～和泉ＩＣ（仮称）間の開通及び北陸新幹線福井・敦賀開業前後の主な出来事

全体の動き



※時期についてはおよそのイメージで示しています。

（２）令和５年度までに取り組む事柄

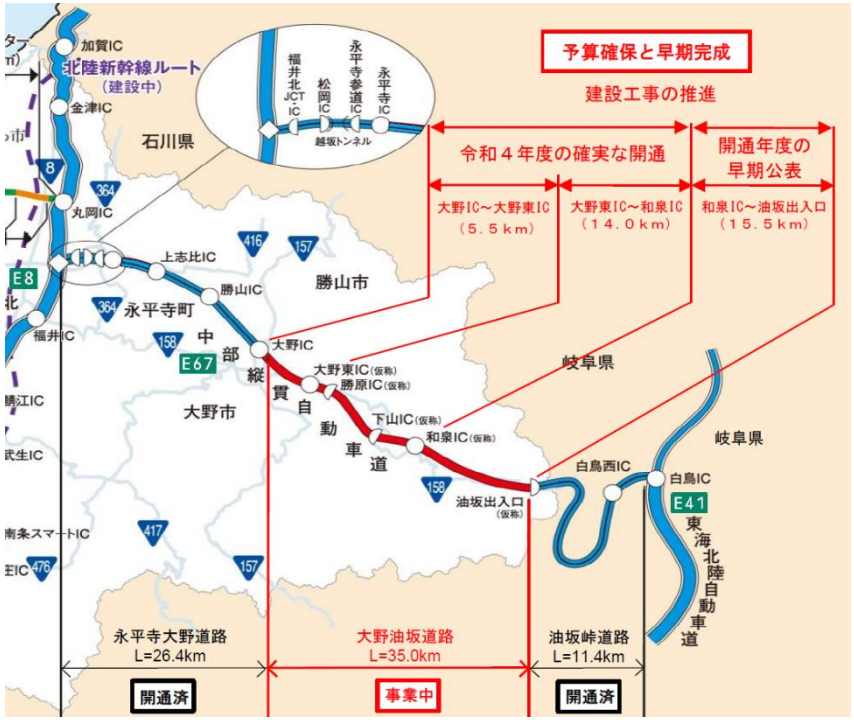
①中部縦貫自動車道・幹線道路網の整備

中部縦貫自動車道
大野 IC～和泉 IC(仮称)開通

北陸新幹線
福井・敦賀開業

施　　策	主な事柄	令和元年度 (2019 年度)	令和２年度 (2020 年度)	令和３年度 (2021 年度)	令和４年度 (2022 年度)	令和５年度 (2023 年度)
中部縦貫自動車道の整備促進	中部縦貫自動車道大野油坂道路の整備促進を要望	→	→	→	→	★大野 IC～和泉 IC（仮称）開通
国道１５８号の整備促進	国道１５８号境寺・計石バイパスの整備促進を要望	→	→	→	→	→
一般県道の整備促進	一般県道皿谷大野線（中挟～中保）及び一般県道白山中居神社朝日線の整備促進を要望	→	→	→	→	→

中部縦貫自動車道　大野 IC～和泉 IC（仮称）間	
開通時期	令和４年度（２０２２年度）



（中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会
福井県議会高規格道路建設促進議員連盟 要望資料引用）

一般県道皿谷大野線（中挟～中保）	
開通時期	令和１０年度予定（２０２８年度）

②道の駅「越前おおの 荒島の郷（さと）」に関連した取り組み

中部縦貫自動車道 大野 IC～和泉 IC（仮称）開通

北陸新幹線 福井・敦賀開業

施　　策	主な事柄	令和元年度（2019 年度）	令和２年度（2020 年度）	令和３年度（2021 年度）	令和４年度（2022 年度）	令和５年度（2023 年度）
防災拠点の整備充実	道の駅「越前おおの 荒島の郷」に大規模災害などの発生時に円滑な支援・受援体制に対応できる機能の整備	→	→	★「防災道の駅」認定		
越前おおの産地保証制度の推進	大野産農林産物のブランド力の強化、「越前おおの里の恵み」認証制度と「越前おおの産」産地保証制度の推進	→	→	→	→	→
農産物の総ブランド化の推進 特用林産物の生産促進と商工製品の開発支援	特産作物の生産・出荷奨励支援、６次産業化や農商工連携の促進、園芸作物の生産促進 特用林産物の生産と出荷支援、新たな土産品などの商品開発支援	→	→	★道の駅「越前おおの 荒島の郷」開駅	→	→
	「大野市道の駅産直の会」の商品開発や商品パッケージ更新などのサポート	→ 「産直の会」支援	→	→ 「産直の会」商品開発等サポート	→	

「防災道の駅」の認定

認定時期	令和３年早期

「防災道の駅」は、都道府県が災害時に広域的な復旧や復興の活動拠点となる道の駅を選定し、ハードとソフトの両面から対策を強化した道の駅を国土交通省が認定する制度で、県内で唯一認定を予定しています。

道の駅「越前おおの 荒島の郷」の防災機能

- 地域住民や道路利用者の一時避難場所
- 自衛隊や警察、消防などが集結できる大型車駐車場
- 停電時に施設に電力を供給する自家発電装置
- 災害時に使用できるマンホールトイレ
- 隣接する避難所用の物資を備蓄する倉庫

特産作物ブランド力強化事業補助

特産作物の安定した生産と出荷に向けて支援します。

○農業機械や施設整備に対する補助

対象作物：サトイモ、ネギ、ナス、キク、穴馬ｽｲｰﾄｺｰﾝ、穴馬かぶら

補 助 率：【個人】1/2　上限 500 千円　※産地保証認証者

2/3　上限 700 千円　※里の恵み認証者

【法人】1/2　上限 1,500 千円

○出荷奨励金

対象作物：①穴馬ｽｲｰﾄｺｰﾝ、②穴馬かぶら

奨 励 金：①出荷本数に応じて　１本あたり 30 円～70 円

②出荷個数に応じて　１個あたり 50 円、100 円

園芸作物生産促進事業

園芸作物の生産促進に向けて①野菜や果樹の栽培講座の開催や、野菜種子の配布②農業機械や施設の整備に対して支援します。

対象者：①誰でも　②道の駅または七間朝市の出荷者

補助率：②1/2　上限 150 千円

③公共交通手段の確保

施　　策	主な事柄	令和元年度 (2019 年度)	令和２年度 (2020 年度)	令和３年度 (2021 年度)	令和４年度 (2022 年度)	令和５年度 (2023 年度)
バス運行の充実	北陸新幹線敦賀開業や利用者のニーズに合った運行ダイヤの検討	→	→	→	→	→
	高速バスの運行に向けた誘致活動	→	→	→	→	→
	道の駅「越前おおの 荒島の郷」へのバス（市営バス道の駅線）運行			→	→	→
ＪＲ越美北線の利用促進	北陸新幹線敦賀開業や利用者のニーズに合った運行ダイヤの検討	→	→	→	→	→
	首都圏や中京圏をターゲットとした新たな周遊ルートの開発			→	→	→
	沿線イベント等と連携した利用者への買い物補助券配布	→	→	→	→	→
	県・JR・福井市・大野市連携協定による沿線地域への観光誘客に係る観光施策の企画及び実施		★県・JR・福井市・大野市連携協定締結	→	★車両ラッピング・駅舎装飾	→

中部縦貫自動車道 大野 IC～和泉 IC(仮称)開通

北陸新幹線 福井・敦賀開業

道の駅「越前おおの 荒島の郷」へのバス運行	
運行開始	令和３年４月２２日～

「市営バス道の駅線」を運行します。
道の駅「越前おおの 荒島の郷」にバス停を設置し、公共交通による移動手段を確保します。
【運行形態】
〇４月～１１月中旬
「JR 越前大野駅」～道の駅「越前おおの 荒島の郷」
１日５便　毎日運行
※「道の駅」から「鳩ケ湯」については、
５月１日から１日２便運行（火・土・日・祝日）
〇１１月中旬～３月
「JR 越前大野駅」～道の駅「越前おおの 荒島の郷」
１日３便　毎日運行

JR 越美北線の観光利用促進に関する連携協定	
協定期間	令和３年３月５日～令和７年３月３１日

福井県、福井市、大野市、西日本旅客鉄道株式会社金沢支社が相互に協力し、北陸新幹線福井・敦賀開業を生かした越美北線の観光利用促進及び沿線地域の観光振興を図ります。
- 車両ラッピングや駅舎装飾などによる観光資源としての越美北線の魅力向上
- 駅発着のまち歩きや体験プランなど地域にある観光資源の磨き上げなど周遊滞在型観光の促進

④戦略的な観光の推進

施　　策	主な事柄	令和元年度 (2019 年度)	令和２年度 (2020 年度)	令和３年度 (2021 年度)	令和４年度 (2022 年度)	令和５年度 (2023 年度)
観光資源の活用と滞在型観光の推進	観光客向けの体験・滞在メニューの企画・開発支援	★大野まちつむぎ 開始		★ジャパンエコトラック 開始 ★九頭竜ぐるっとペダル 開始 ★越前おおのはしごスイーツ 開始		
	星空・化石・歴史などの観光資源の活用	★星空ハンモック事業 開始（H30～） ★星降るランタンナイト 開始（H30～）	★光害対策防犯灯の設置 ★レンタパラソルいろとりどり 開始	★恐竜モニュメントの設置 ★2.43 関連イベント		★星空保護区認定を目指す ★「星空のまち・青空のまち」全国大会開催
	（仮称）大野市民俗博物館の整備					
国際観光の推進	海外誘客に向けたＰＲ活動、観光パンフレットの多言語化など、インバウンド対策の強化					

中部縦貫自動車道
大野 IC～和泉 IC(仮称)開通

北陸新幹線
福井・敦賀開業

「星空保護区」の認定	
認定目標年度	令和５年度（２０２３年度）

【星空保護区とは】
国際ダークスカイ協会が実施する、光害の影響のない、暗く美しい夜空を保護・保存するための優れた取り組みを称える制度で、星空の世界遺産とも言われています。
大野市は福井工業大学、パナソニック株式会社、地元地区との連携により六呂師高原エリアでの認定を目指しています。

【申請予定カテゴリー】
都市近郊にありながら美しい星空が保たれており、暗い夜間環境を保護推進するための優れた取り組みをしている地域を対象とする『アーバン・ナイトスカイプレイス』カテゴリーでの申請を予定しています。
（都市公園、広場、展望台などの場所）

ジャパンエコトラック「九頭竜川・荒島岳」	
登録期間	令和３年４月～

【ジャパンエコトラックとは】
トレッキング・カヤック・自転車といった人力による移動手段で、日本各地の豊かで多様な自然を体感し、地域の歴史や文化、人々との交流を楽しみながら、旅をする新しい旅のスタイルで、ジャパンエコトラック推進協議会が公式ルートを認定しています。
【大野市内のルート】
- 九頭竜川サイクリングルート
- 奥越周遊サイクリングルート
- 平泉寺・永平寺・一乗谷サイクリングルート
- 恐竜渓谷ふくい勝山サイクリングルート
- 荒島岳登山ルート
- 九頭竜湖カヤックフィールド

九頭竜ぐるっとペダル	
実施期間	令和３年４月２２日～令和５年３月

大野・勝山・永平寺観光推進エリア創出計画実行委員会で取り組むスポーツタイプ自転車のレンタサイクルです。
道の駅「越前おおの 荒島の郷」などを発着点に、自転車で田園、六呂師高原、城下町、九頭竜川沿いなど豊かな自然と文化をゆっくり楽しみながら体感することで、観光客の周遊滞在を推進します。

【貸出スポット】
道の駅「越前おおの 荒島の郷」、城下町東広場、えちぜん鉄道勝山駅、
道の駅「恐竜渓谷かつやま」、えい坊館の５か所。
※借りた自転車は、どこのスポットでも返却ができます。

福井が舞台のアニメ「2.43」とのタイアップPR	
実施期間	令和３年４月３０日～令和４年３月３１日

大野への観光誘客を促進するため、アニメ「2.43」とタイアップし、ポスターや等身大パネルを制作・設置するほか、ＳＮＳによる情報発信を行います。
〇市内道の駅や観光施設等にタイアップPR物を設置
・タイアップポスターの掲示（２種類）
越美北線や荒島岳、六呂師高原の星空と「２．４３」のコラボポスターを設置
・等身大パネルの設置（メインキャラクター６人×１枚）
〇アニメ公式ツイッターアカウントによる情報発信

（その他）
〇県が制作する「２．４３聖地化マップ」と連携し、大野への誘客を促進

恐竜モニュメントの設置	
実施期間	令和３年度中（予定）

化石産出地としての認知度を向上させるため恐竜モニュメントを市内に設置します。

【大野市の化石】
大野市では中期ジュラ紀（約１億 6600 万年前）から後期ジュラ紀（約１億 6000 万年前）にかけての様々なアンモナイトの産出が知られるようになり、現在ではアジアの重要なアンモナイト研究の拠点として国際的に評価されています。
近年では、前期白亜紀（約１億 2700 万年前）の地層から恐竜の歯化石が発見され、北陸地方の重要な恐竜化石の研究拠点としても注目されています。令和３年２月には、国内最古級の哺乳類の化石が発見されました。

越前おおのはしごスイーツ～おかしな街歩き～	
実施期間	令和３年４月～

お得な特典などで武家屋敷や菓子店を巡りながら城下町散策を楽しめます。

【楽しみ方】
①（一社）大野市観光協会等で商品を購入（1,000円）し、巾着袋、クーポン、天空の城ノベルティーをもらう。
②お得な特典等を使い、武家屋敷や菓子店舗など城下町散策を楽しむ。
③菓子店舗で、クーポンを使用し、オリジナルの巾着袋を使って、自分だけのお土産（菓子詰合せ）をつくる。

⑤雇用の確保と働く場の整備

中部縦貫自動車道
大野 IC～和泉 IC(仮称)開通

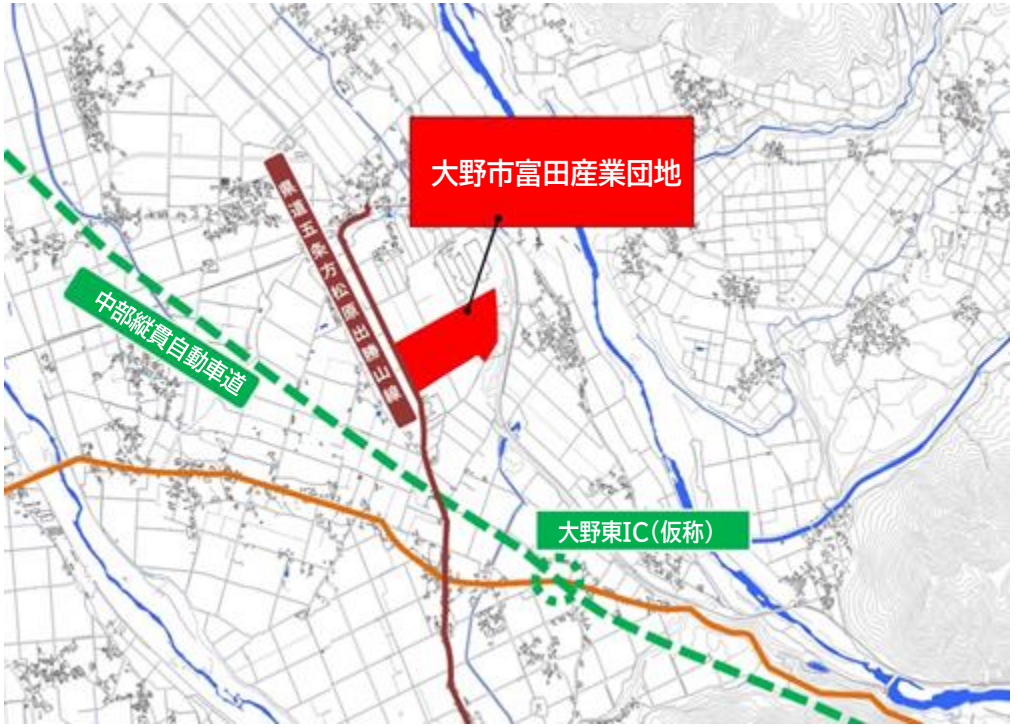
北陸新幹線
福井・敦賀開業

施　　策	主な事柄	令和元年度 (2019 年度)	令和２年度 (2020 年度)	令和３年度 (2021 年度)	令和４年度 (2022 年度)	令和５年度 (2023 年度)
積極的な企業誘致	大野市富田産業団地の整備	→	→	★分譲開始		
	中部縦貫自動車道の開通効果を生かせる企業や若年層の関心が高い情報技術関連企業などの積極的誘致	→	→	→	→	→

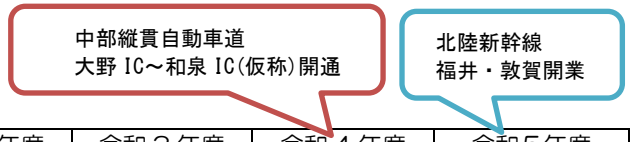
大野市富田産業団地の概要

所在地	福井県大野市七板
所有者	大野市土地開発公社
面　積	団地総面積　　約17ha 分譲可能面積　　約12ha
分譲価格	5,400～6,000円／㎡
分譲開始時期	令和3年4月
立地可能業種	製造業、物流関連産業、情報サービス業 等
用途地域	用途指定なし　建ぺい率70／100　容積率200／100
交　通 (車ご利用の場合)	■高速　中部縦貫自動車道大野東IC（整備中）まで1.6㎞（5分） 道路　北陸自動車道福井ICまで32㎞（44分） 北陸自動車道福井北ICまで33㎞（40分） 東海北陸自動車道白鳥ICまで72㎞（1時間15分） ■鉄道　JR越前富田駅まで1㎞（3分） ■港湾　福井港まで52㎞（1時間20分） ■空港　小松空港まで77㎞（1時間15分※北陸自動車道利用）
用　水	地下水：使用可能
排　水	企業内処理→農業用排水路（地元との協議が必要です）
電　力	普通高圧：6,600V（特別高圧：電力会社と要協議）
環境施設面積率	15%（うち緑地面積率10%）　※市が確保済
公害防止協定	市との間で公害防止協定の締結が必要です。

位置図



⑥情報発信と定住サポート



施　　策	主な事柄	令和元年度(2019 年度)	令和２年度(2020 年度)	令和３年度(2021 年度)	令和４年度(2022 年度)	令和５年度(2023 年度)
越前おおのブランドの発信	特産品の販路拡大・観光商談会への参加			★(仮称)越前おおの産業ブランド向上計画策定		
イベントの広報推進と誘客拡大	ＳＮＳなどでの情報発信の充実					
	中京圏や関西圏、関東圏からの誘客拡大					
定住情報の提供とサポート体制の強化	ＩＪＵ（移住）サポートチームによる定住支援、定住促進ポータルサイトの運営			来て見て住んで応援パッケージ		
定住促進対策	おおの暮らし体験プログラムの実施、定住のための住宅取得やリフォームに対する助成					
空き家の利活用の促進	空き家情報バンク、空き家希望者バンクの運営		★空き家希望者バンクの運用開始			

空き家情報バンク

空き家情報バンクは、定住促進事業の一環として、売却・賃貸が可能な市内にある「空き家」の情報を所有者から募集し、空き家物件情報を市のホームページ上で紹介し、購入・借家を希望している人に提供しています。
平成２７年度から令和元年度までの５年間で、３２件の登録があり、成約数は２６件に上ります。

空き家希望者バンク

空き家希望者バンクは、移住者などの空き家を探している人の家族構成や探している空き家の条件を、ホームページ上で紹介しています。
空き家を探している人と空き家を持っている人とのマッチングの機会の創出と、空き家情報バンクへの登録物件の増加を図ります。

来て見て住んで応援パッケージ

「相談・体験」	・移住相談、移住体験 移住全般の相談（オンライン相談可）、希望に添った移住体験 ・UI ターン移住就職支援金 県内企業に就職した県外移住者へ移住支援金
「住まい」	・空き家情報バンク、空き家希望者バンク 移住定住応援サイトで空き家物件、空き家希望者の紹介 ・空き家暮らし支援 空き家取得（最大６０万円） 空き家リフォームを支援（最大６０万円）
「仕事」	・Ｕターンを支援 市内会社訪問の交通費を支援（１回最大 14,000 円※年２回まで） ・女性Ｕ・Ｉターン就職応援 市内企業へ就職した場合、引越し費用を補助（最大３０万円）
「子育て」	・地域子育て支援センターなどでの子育て相談受付 ・「大野ですくすく子育て応援パッケージ」 子どもの成長過程に沿ってきめ細かな支援策を紹介

結の故郷
ゆいのくに
越前おおの